

16

通信インフラ・社会インフラに貢献する企業へ

株式会社笹沼製作所

TEL.0297-58-1161 FAX.0297-58-1163

URL <http://www.sasanuma.co.jp/>



笹沼 正芳
代表取締役

代表者：代表取締役 笹沼 正芳
所在地：〒116-0002 荒川区川3-18-2
資本金：1,000万円
従業員：16人

創業年：昭和23年(法人化 昭和40年)
業種：金属加工業
事業内容：逆絞りプレス加工・チタン・SUS・
スーパーエンブラ加工・追加加工

インフラを支える技術

戦後間もない荒川区にて創業し、最中の皮の生産からはじまり、ブリキのおもちゃのプレス加工・紡績生産用部品の特許取得や生産を経て、「逆絞り加工」の技術を使った、現代の主要な通信インフラとなる「光ケーブル用端末部品」を主に手掛けている。

また、旧来の技術となる銀ロウ付け・ハンダ綴り等の技術を継承し、電力インフラ分野へも進出を進めており、機械加工においては半導体メッキ装置部品をはじめ、工作機械用部品、食品製造装置部品などの加工で多種多様な材料の加工を可能としている（樹脂・非鉄金属・耐熱合金等）。

さらに現在、電力インフラに使用する銅合金鋳物加工にも進出している。



通信技術を支える自社製品

「通信ケーブル用端末キャップ」は、永年に渡り製造している製品。創業者笹沼芳明が顧客要望に応えるために3年の歳月を費やし、1枚板から工程を重ねる事で「筒形」にプレス加工で絞る技術確立した。製造初期は全国的な電話インフラの展開時期でもあり、大型の製品を中心に製造。現在は「光ケーブル用」の小～中型の物が主力となり、今後も新規規格通信技術の発展に寄与していく製品となっている。

その他、メッキ装置部品・電気部品・加工機械用部品・省力化装置部品など、多岐にわたる分野の機械加工を請け負っている。

また、当社設備にて対応できない加工については、協力会社による対応で様々なニーズに応えることが可能となっている。



人材育成・業務効率化が急務

つくば工場の周辺は近年、大企業の工場が進出してきて今後人材がそちらに流れて行くことが懸念される。

人材育成の観点からも「企業の魅力の出し方」が大きな課題となってくる。

当社の従業員平均年齢60以上、若い人の育成や設備投資が急務となると危機感を持ち、給与体系の見直し・経営体質の改善や様々な技術を取り入れていくことで効率化を図っている。



製造拠点となる「つくば工場」



現在の製造拠点となっている茨城県のつくば工場で製造を開始したのが昭和40年代、当時の物流状況で金型部品等の入手に時間がかかることから、材料から部品の加工までを行うことで時間の短縮と、自社プレス加工や金型加工等の技術向上・加工においてキモとなる「治具」製作の技術向上を図ったことが、現在の機械加工部門の開設につながっている。

新規部品の加工はもちろん、他社にて加工された製品の不具合改修、機能性向上などを目的とした「追加加工」も日々受注、加工済み形状の製品に再度加工を行うための加工技術ノウハウも習得している。

「追加加工」については製造した部品を新たに作り直すのではなく、機能追加・修正を行うことでお客様の「時間・無駄・費用」の削減要件をクリアすることで喜ばれている。

④主な保有設備

- ・プレス装置：10台
- ・機械加工装置：13台
- ・高周波加熱装置：1台
- ・画像測定器：1台

④主な認証・実績等

- ・ものづくり補助金
- ・事業再構築補助金
- ・IT補助金